

空き缶を有価金属としてリサイクルするには、飲み残した飲料の処理とラッカー及び塗料被膜を除去することが絶対条件です。本システムは、これをロータリキルンで、500℃以下の温度で回転攪拌することにより、アルミ及びスチールを変質させずに熱処理をし回収することができます。また、スチール缶の上蓋のアルミ部は熱処理することにより分離され、破碎機でペレット状に造粒されたのち、磁選機でアルミと鉄に分別しパッキングされます。当社は、このロータリーキルンとキルンからの排気を再燃焼する炉を、日青鋼業(株)殿経由で(株)クレス名古屋殿へ納入しましたので、その内容を紹介します。



ロータリーキルン及び再燃焼炉(上部)

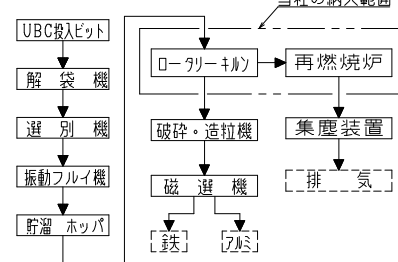
「仕様」

- 1) 処理量 1000 Kg/H
- 2) UBC平均比率(重量比)  
鉄: 80%, アルミ: 20%
- 3) ユーティリティ  
・ A重油: 60 L/H  
・ 廃油: 10 L/H  
・ 電力(設備容量): 11 KW
- 4) 設置面積 11m × 3m

「特長」

空き缶に助燃剤を添加し、キルン内の温度をバーナで自動制御することにより、空き缶は変質しません。

処理系統



組立図

